

スーパーやショッピングセンターなどに

**無料レンタルゲーム機で
ゲームコーナーを設置する
メリット**

はじめに

遊休スペースや空き区画を利用して、
単なる「小銭稼ぎ」にとどまらず、
本業の売上アップや店舗運営の効率化に大きく貢献する
点にあります。

ビジネス視点で大きく「収益」「集客・販促」
「店舗運営」の3つの切り口で整理しました。



1

【収益面】 デッドスペースの収益化

店舗内の「何も生まない空間」がお金を生む場所になります。

- **坪効率の向上**

レジ横、出入口、柱の周りなどの「デッドスペース（死に地）」にクレーンゲーム機などを置くことで、家賃を変えずに新たな収益源を作れます。

- **電気代以外のコストがほぼゼロ**

ガチャガチャなら電気代すら不要です。在庫リスクも基本的には業者が負う（レンタル・委託の場合）ことが多いため、リスクが非常に低いです。

【集客・販促面】 「ついで」と「目的」を作る

お客様の心理的ハードルを下げ、滞在時間を延ばす効果があります。

- **入店のハードルを下げる（呼び水効果）**

「あ、このクレーンゲームやりたい」という理由で、
今まで店に入らなかった層（特に子供連れや若者）が足を踏み入れます。
これをきっかけに本業の商品を見てもらえます。

- **滞在時間の延長と客単価アップ**

ファミリー層：子供がゲームに夢中になっている間に、親がゆっくり買い物や食事を楽しめるため、客単価が上がりやすくなります。

待ち時間のストレス軽減：飲食店や理容室などで待ち時間が発生する場合、ゲームコーナーがあると体感待ち時間が短くなり、顧客満足度が下がりにくくなります。

【店舗運営面】オペレーションの負担軽減

無料レンタルゲーム機でスタッフの手を煩わせずにサービスを提供できます。

- **完全無人販売**

接客、調理、包装などが不要です。人手不足の店舗でも導入可能です。

- **両替の手間削減（副次的効果）**

100円玉を作るために商品を買う、あるいはお釣りで小銭が出たからゲームをする、という現金の循環が生まれます。

【比較】 どのマシンを置くのが正解か？

お店の場所や業種でどのタイプが合うかおすすめを分類しました。

店舗タイプ	おすすめマシン	理由・狙い
スーパー・小売店 ショッピングセンター	クレーンゲーム、ガチャガチャ	「省スペース」で「回転率」が良い。 買い物終わりの余った小銭（お釣り）を回収 するのに最適。通路の邪魔にもなりにくい。
観光地・土産物屋	クレーンゲーム、ご当地ガチャ限 定自販機	「思い出作り」 ここでしか買えない土産物として高単価 （500円～）でも売れる。
休憩所・喫煙所	自動販売機	「利便性」 スタッフがドリンクを提供する手間を省き、 かつ確実に売上が立つ。

導入する際のリスク（注意点）

1 店舗イメージとの整合性

高級店や静かな雰囲気のに、電子音が鳴る派手なクレーンゲームを置くとブランドイメージを損なう恐れがあります。

2 トラブル対応

「お金が詰まった」「景品が出ない」といったクレーム対応は、現場のスタッフが一時的に対応する必要があります（返金対応など）

3 通路の確保

消防法やバリアフリーの観点で、十分な通路幅を確保した上での設置が必要です。

リスクとメリットを比較していただき、判断をしていただければと思います。

ご相談は無料ですのでお気軽にお伝えください。